

<p><タイプ1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インフラ」が大切という言葉に自分は引っかけました。 ・映画を観ながらマンガを書く人は、凄いと思う。 ・日本の歴史は小学校の時に図書館で唯一と言ってもいいほど読み続けた本でした。 ・何かをやるにはコツコツやるのが大切だと思った。 ・新しい服を作ろうとしたコシノジュンコの仕事は今のデザイナーの土台になっています。 ・赤塚不二夫記念館に行ってみたいと思った。 	<p><タイプ3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜高校だったので、応援歌の「鉄腕アトム」について詳しく知れて良かった。 ・知高雄の言葉に心を打たれた。「人間は失敗してつまづき転んで強くなる。つまり人生には無駄がないってこと」 ・火の鳥やブラックジャックを読んだことがあったので今日の講義は楽しく聞けた。 ・手塚先生自身のことを知れて良かった。 ・日本人はとても複雑な色をたくさん知っている。手塚治虫は364日、1月1日以外は仕事をしていた。自分はそうはなりたくない。 ・火の鳥は、理解できる範囲で面白かった。もう一度読んでみたい。 ・偉人達が共通する点は、とてつもない知的体力を持っている。 	<p><タイプ5></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽観的に見えて楽しそうにしている、とても苦しみ努力の人だと思った。 ・「マンガは世界の共通言語とも言える」「マンガだけではダメ、普段から他の知識を養うことが重要」今日の講義は共感を得る内容だった。 ・草間さんの作品は昔から好きで良く観ていた。独特の世界観に、ワクワクさせられる。 ・今日の授業は興味を惹かれた。 ・レポートは藤子不二雄さんに決めようと考えた。 ・ただの漫画家だと思っていたが奥が深かった。 ・世田谷美術館に行ってみたい。トキワ荘みたいにライバルと一緒に創作活動できる環境が、腕を磨くのに一番だと思った。 ・仕事量と体力が重要になることは、どの分野においても同じだと感じた。トキワ荘の跡地に行ってみたい。赤塚不二夫の資料を集めてみようと思った。作品そのものにも触れてみたい。 ・自分は一度漫画家を目指そうと思った時期があった。努力と経験が必要だと思った。 ・漫画家は自分の好きなことを全力で追いかけて、人間関係も大事だということが分かった。 ・文化勲章のように、天皇とお茶会に参加できるような章をいただいてみたい。手塚治虫さんは、漫画界の神だと思う。 ・なるべくいいものを、なるべく身になる経験を考え行動している。今できること、やりたいことは直ぐやる！をモットーに頑張りたい。 ・昔のマンガを読みたい。 ・石巻の石ノ森漫画館に行ったことがあるが、もう一度訪れたい。 ・歴史は漫画で勉強してとても分かりやすかった。
<p><タイプ2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手塚治虫大好き ・赤塚不二夫さん、私は青梅市に住んでいるので、駅前の銅像など毎日みている。漫画家ではないけれど、今敏さんの絵が大好きです。 ・漫画家に対するイメージが変わった。 ・手塚さんの存在の大きさが参考になった。 ・タイプ分けした中でさらにタイプ分けしたいと思った。 ・どの分野もマンガは入りやすく、広い知識を得ることができます。 ・「怒濤の仕事量をこなす」という先生の言葉が凄く成る程と思った。自分も誰かに尊敬されたい。 	<p><タイプ4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・怒濤の仕事量は、やはり徳富蘇峰さんです。34年間で「近世日本国民史」100巻を書き上げ、驚いた。手塚治虫さんのマンガから表れた平和の祈り、感動した。「マンガにはマンガの役割があります。それは世の中の道徳とか観念をひっくり返すことなのです」。タイプ4の人は人間関係が一番悪い状態にあったら理性はそんな悪く無いが感情は全然理解できない。 ・漫画家は本当に大変な仕事量です。 ・志村ふくみさん。死んでいた植物を再び芸術の形で表すことは凄いと思う。赤塚不二夫さんのように、悔いの無い人生を過ごしたい。 ・「人生は一種の苦役なり。ただ、不愉快に服役すると、欣然として服役すると、相違あるのみ」徳富蘇峰 ・仕事に集中できることが凄いと思った。 ・手塚先生のお陰で今の漫画界があると思う。 ・今日もとても良い話を聞くことができた。 ・赤塚不二夫さんの生き様が格好いいと思った。 	

<タイプ6>

- ・他人を理解するにはまず自身を理解する必要がある。
- ・文化勲章受章者は、受賞したときには既に次の事を考えている。受賞に満足せず更に高みを旨す。
- ・手塚治虫がこんなに凄い人だと思わなかった。
- ・漫画を描くのに、多くの情報が必要だと分かった。
- ・手塚治虫さんは、タイプ4に当てはまると自分は思った。
- ・斉藤さんのきっかけがゴルフとは驚いた。小さな事でも大切にしないとイケない。
- ・自分にとって良い講義だった。
- ・宮城谷昌光さんの「前しか見ていない」という発言は真理であると考え。沖縄問題は非常に根深いものである。基地は沖縄に置かざるを得ないとしてもその分沖縄に日本人は感謝の念を示すべきであり、出来る限り沖縄の基地負担を減らすべきである。反対派の人達は、少し暴走気味であると感じるが、今まで我慢してきた事への表れである。そんな彼等に対して「土人」などという発言は決して許されるべきものではない。
- ・漫画家の言葉が一番重く感じる。手塚さんの話も重みに溢れており、とても心に響いた。
- ・藤子不二雄先生がいたからこそ、子供から大人まで楽しめる漫画を世界に発信されていったのだと思う。
- ・漫画は記号、世界の共通言語。英語よりマンガの方がよい。分からない分野はマンガを読む。
- ・手塚治虫先生から、新しい漫画家たちへバトンが繋がれている。そのバトンが続く限り、日本の漫画業界は終わらないと思った。

<タイプ8>

- ・私も一流のものに触れていきたい。
- ・手塚治虫の戦時中の話など、そんなに大変な人生だったとはと、驚いた。
- ・草間彌生はとても不思議な人という印象がある。
- ・キングダム of the authorsの作者を最終レポートのテーマとして扱おうと思うが、もう少し考えてみる。

<タイプ7>

- ・仮面ライダーが大好き。テンションが上がった。沖縄の話が先生がしてくれた。沖縄=琉球、今現在の沖縄基地問題なども先生は知っているのでしょうか？
- ・多くの漫画家の共通点は、一つは「時間」と「アイデア」と「影響」。
- ・「ブラックジャック」は個人的に好きで全巻持っている。何度も読み返したくなる魅力を持っている。
- ・手塚さんの漫画は記号で、国境を越える可能性や世代も越えられるという言葉は、人間関係を作る新しいやり方だと思った。
- ・分からない事があれば漫画を読むことは、自分も実践していることである。
- ・手塚治虫のブツが2000万部も売れている。私のモデルは手塚治虫です。普通を作り出したから。
- ・漫画家は凄いなと思った。一つの漫画を完成させるのにストーリーがあると思った。人間は努力してこそ成功すると思った。

<タイプ9>

- ・教養のある立派な人を探す。
- ・自分はあまり本を読まないで、これからは読もうと思った。
- ・様々な本を読み、もっと知識をつけたいと思った。「人間関係」のエニアグラムから、悪い状態にある時の自分を出さないように気をつけたいと思った。モデルは赤塚不二夫
- ・草間彌生の話し方は、とても不気味で面白い。手塚治虫の言葉が響いた。
- ・もしかしたら漫画家が一番頭が良いかも。
- ・人間関係についてもっと深く知りたいと思った。
- ・最近漫画が世界に浸透してきているので嬉しい。
- ・手塚治虫の凄さと偉大さを感じた講義だった。
- ・漫画だけでなく、どんな仕事も「体力」がものを言うのだと思った。
- ・偉人は仕事量が多いことが良く分かった。努力をなくして偉人はいないのだと思った。

<タイプ?>

- ・手塚治虫の生前の映像を見ることができて嬉しかった。赤塚不二夫ミュージアムにも行ってみたい。
- ・今日はV3の仮面ライダーを覗かれて嬉しかった。
- ・仮面ライダーが大好きなので、石ノ森さんをととても尊敬している。
- ・赤塚不二夫のお酒を飲みながらの会見は、驚いた。
- ・漫画家には短命が多いのは少し驚いた。
- ・草間彌生は少し不気味だったが、とても凄い作品を作っていることを知った。
- ・石ノ森章太郎さんの作品がとても大好きで、特に仮面ライダーが好きです。
- ・私が思うのは、漫画家は「冒険家」ではないかと考える。
- ・手塚治虫の「鉄腕アトム」が好き。
- ・講義に興味を持ったのは、漫画も勉強しないと作れないということだ。
- ・本を読むことが大事。
- ・学ぶことが多く楽しく講義を受けることができた。
- ・これからは、先に行動できるように、何事も挑戦していきたい。
- ・石ノ森章太郎が既に亡くなっていたことにビックリした。今でもエンドロールで流れているので生きていたと思っていた。
- ・漫画は自己投影されるものだと思う。
- ・一流の物に触れる必要性に気付いた。
- ・静かな授業で良かった。